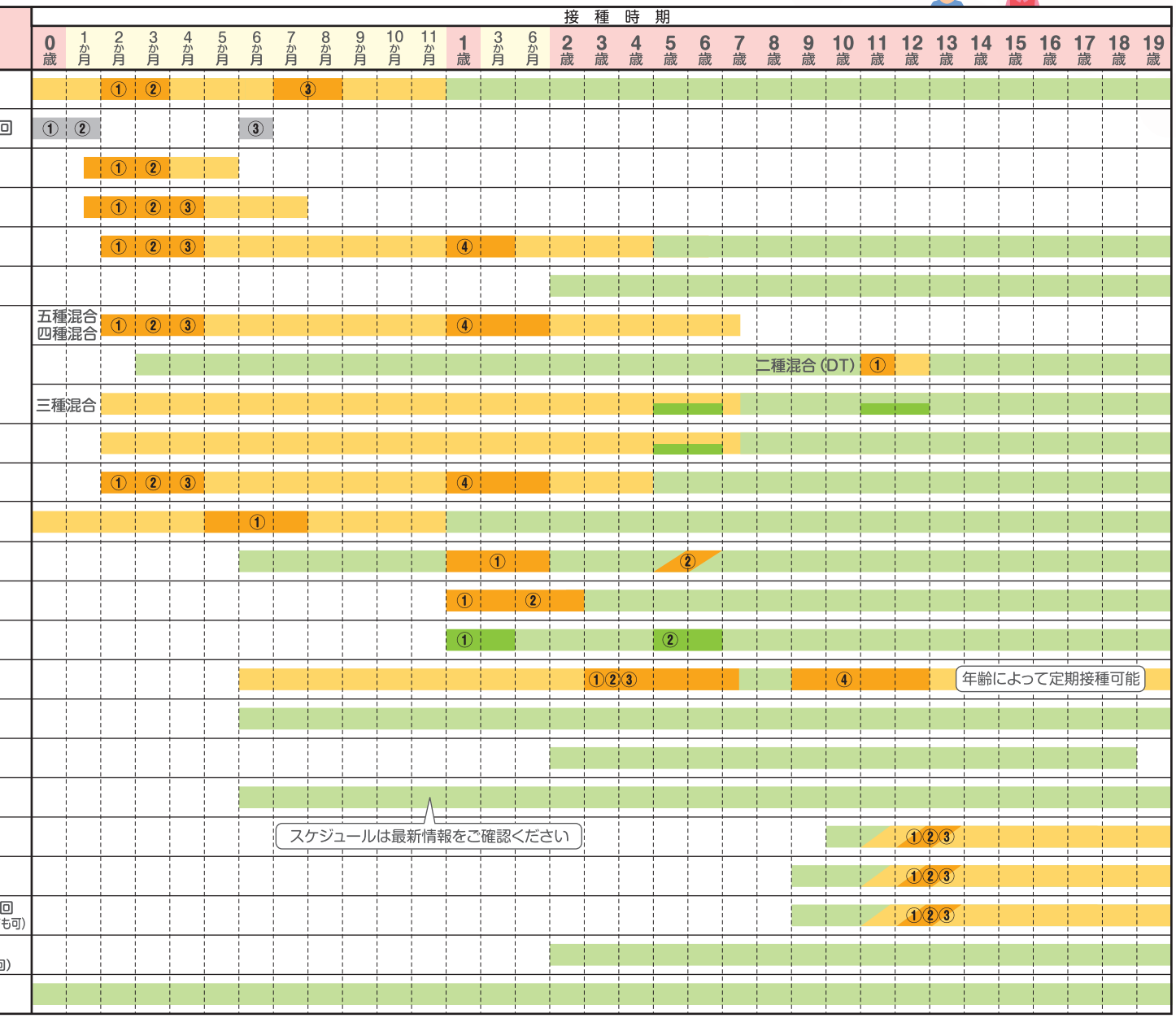
Vaccination for all
こどもとおとなのワクチンサイト
www.vaccine4all.jp

こども 0歳～19歳 ワクチン接種スケジュール

2025年5月版

ワクチン名		接種回数
不活化ワクチン	B型肝炎 定期	3回
不活化ワクチン	B型肝炎 健康保険	母子感染予防3回
生ワクチン	ロタウイルス 定期	1価 2回
生ワクチン	ロタウイルス 定期	5価 3回
不活化ワクチン	肺炎球菌(結合型)(PCV15・20) 定期	4回
不活化ワクチン	肺炎球菌(PPSV23) 任意	1回
不活化ワクチン	五種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ) 四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ) 二種混合(ジフテリア・破傷風) 三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風) 定期	4回
不活化ワクチン	ポリオ(IPV) 定期	4回
不活化ワクチン	ヒブ(インフルエンザ菌b型) 定期	4回
生ワクチン	BCG 定期	1回
生ワクチン	麻しん・風しん(MR) 定期	2回
生ワクチン	水痘 定期	2回
生ワクチン	おたふくかぜ 任意	2回
不活化ワクチン	日本脳炎 定期	4回
不活化ワクチン	インフルエンザ 任意	13歳未満 2回 13歳以上 1回
生ワクチン	インフルエンザ 任意	1回
不活化ワクチン mRNAワクチン	新型コロナ 任意	
不活化ワクチン	HPV(ヒトパピローマウイルス) 定期	2価 3回
不活化ワクチン	HPV(ヒトパピローマウイルス) 定期	4価 3回
不活化ワクチン	HPV(ヒトパピローマウイルス) 定期	9価 9歳以上 3回(15歳未満は2回でも可)
不活化ワクチン	髄膜炎菌(4価) 任意	1回(リスクが高い人2回)
不活化ワクチン	A型肝炎 任意	3回



不活化ワクチン　不活化ワクチン

生ワクチン　生ワクチン

mRNAワクチン　mRNAワクチン

定期　法律に定められた期間で接種した場合は無料(公費負担)

任意　接種費用は自己負担(自治体によっては接種費用の助成があります)ですが、ワクチンの必要性は定期と同じです

定期接種の推奨期間
定期接種の可能期間
任意接種の推奨期間
任意接種の可能期間

一般社団法人
日本プライマリ・ケア連合学会
Japan Primary Care Association
一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会(JPCA)/感染症委員会ワクチンチーム

Vaccination for all
こどもとおとなのワクチンサイト
www.vaccine4all.jp

こども 0歳～19歳 ワクチン接種スケジュール

2025年5月版

ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
B型肝炎	①-②の間は4週以上あける ①-③の間は20週以上あける	定期：0歳で3回接種 1歳以上でも未接種の場合は、早めに接種することを推奨
	①生直後 ②生後1か月 ③生後6か月	HBs抗原陽性の母親から生まれたHBs抗原陰性の乳児（健康保険適用）
ロタウイルス	生後6週以降、①は生後8週-15週未満を推奨（遅くとも生後14週6日までに開始） ・1価ワクチン：①-②は 4週以上あける ・5価ワクチン：①-②-③は 4週以上あける	定期：1価ワクチン 生後6週から6か月（24週）までに完了する
		定期：5価ワクチン 生後6週から8か月（32週）までに完了する
肺炎球菌（結合型） （PCV15・20）	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上あける、③-④の間は60日以上あけて、1歳から1歳3か月で④を接種 ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の接種後60日以上あけて1歳以降に③ ・初回接種が1歳-生後23か月：①-②の間は60日以上あける ・初回接種が2歳-4歳：①のみ	定期：生後2か月から5歳の前日まで 任意：肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高い人
肺炎球菌 （PPSV23）	任意：2歳以上　対象者：（1）脾臓摘出した人の肺炎球菌予防（健康保険適用）（2）鎌状赤血球症、脾機能不全、心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある人、免疫抑制剤治療予定者（治療開始まで14日以上の余裕のある場合）	
五種混合 （ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ） **四種混合** （ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ） **二種混合** （ジフテリア・破傷風） **三種混合** （ジフテリア・百日咳・破傷風）	①-②-③の間はそれぞれ20-56日あける ③-④の間は6か月以上あける （標準は③終了後12-18か月の間） 11歳-13歳未満 二種混合 二種混合の代わりに三種混合ワクチンを接種可（百日咳予防目的）	定期： 1期：生後2か月-7歳半の前日まで （五種混合・四種混合・三種混合＋ポリオ） ・二種混合を1期に使用する場合は生後3か月から 2期：11歳-13歳の誕生日前日まで(二種混合) 任意（推奨）：5歳-7歳未満 三種混合ワクチンを追加接種（百日咳予防目的） ポリオワクチンを追加接種（ポリオ予防目的）
ポリオ（IPV）	①-②-③はそれぞれ20-56日あける ③-④は6か月以上あける （標準は③終了後12-18か月の間）	定期：生後2か月-7歳半の前日まで （標準として生後2か月-12か月の間に①-③） 任意（推奨）：⑤ 5歳-7歳未満 ポリオに対する免疫が低下する前の接種を推奨
ヒブ （インフルエンザ菌b型）	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上、③-④の間は7か月以上あける。①-③までを12か月までに終了する ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の後は7か月以上あけて③ ・初回接種が1歳-4歳：①のみ	定期：生後2か月-5歳の前日まで 任意：リスクのある患者は5歳以上でも接種可能 注意：ヒブは五種混合ワクチンに含まれています
BCG		定期：生後12か月未満 標準的には、生後5か月-8か月

ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
麻しん・風しん （MR）	①：1歳-2歳の誕生日の前日まで ②：5歳-7歳未満 （小学校就学前の1年間）	定期：①1歳、②年長児相当 任意：1歳以降全年齢接種可能 麻疹曝露後や流行地域では、生後6か月以降で接種可能 その場合は接種回数には数えず、①、②は規定通り接種する
水痘	1歳-3歳未満： ①：1歳以降 早期に ②：①から3か月以上あける 3歳以上：①-②の間は4週間以上あける	定期：1歳から3歳の誕生日前日まで 任意：1歳以降全年齢接種可能
おたふくかぜ	①：1歳以降 早期に ②：5歳-7歳未満（小学校就学前の1年間） ①から4週間あければ接種可能	任意：1歳以降全年齢接種可能
日本脳炎	①-②の間は6日以上(-28日）あける ②-③の間は6か月以上あける ④：9歳-13歳未満	定期：1期：3歳から7歳6か月 （自治体によっては生後6か月から開始） 2期：9歳以上13歳未満 任意：生後6か月以降全年齢接種可能 2005年5月からの積極的勧奨の差し控えを受け、特定対象者（1995年4月2日から2007年4月1日生まれの人）は、20歳の誕生日前日までは定期接種可能
インフルエンザ	【不活化】13歳未満：①-②の間は4週（2-4週）あける	任意：生後6か月以上全年齢 定期：65歳以上（成人のスケジュール参照）
	【経鼻生】2歳-19歳未満	任意：2歳から19歳未満
新型コロナ	製剤ごとに定められている方法 最新情報は厚生労働省のホームページなどを参照 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html	年齢によって使用する製剤や投与量が異なる
HPV （ヒトパピローマウイルス）	①-②の間は1か月以上あける ①-③の間は6か月以上あける 標準的な接種ができなかった場合、①-②の間は1か月以上、①-③の間は5か月以上、かつ②-③の間は2か月半以上あける 2価ワクチン	定期：小学校6年から高校1年女性 任意：10歳以上の女性 キャッチアップ接種 1997年4月2日から2008年4月1日生まれの女性 2024年度中に1回以上接種した人は2026年3月末までに2・3回目の接種が可能
	①-②の間は2か月以上あける ①-③の間は6か月以上あける 標準的な接種ができなかった場合、①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける 9価　9-15歳未満：2回でも可、その場合①-②の間は6か月-12か月あける 4価・9価ワクチン	定期（4価）（9価）： 小学校6年から高校1年女性 任意（4価）：9歳以上の男女 任意（9価）：9歳以上の女性
髄膜炎菌	①-②の間は8週以上あける 任意：2歳以上　（1）髄膜炎菌感染症流行地域へ渡航する人　（2）学校の寮などで集団生活を送る人、送る予定の人　（3）マスギャザリングイベントに参加する人　（4）リスクのある患者（HIV感染症、補体欠損症、無脾症など）	
A型肝炎	①-②の間は2-4週あける ①-③の間は20-24週以上あける	任意：全年齢接種可能（WHOは1歳以上を推奨） A型肝炎流行地へ渡航する人

一般社団法人
日本プライマリ・ケア連合学会
Japan Primary Care Association
一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会（JPCA）/感染症委員会ワクチンチーム